



Metabaru



発行
令和7年10月
陸上自衛隊
目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地
令和7年9月現在
フォロワー
約11,900人!



令和7年9月現在
フォロワー
約250人!



ホームページ

巻頭の辞

九州補給処長

兼ねて目達原駐屯地司令

陸将補 河合 寿士

夏の暑さも和らぎ、朝晩の涼しさに秋の訪れを感じる季節となりました。

8月1日付で第四十二代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令を拝命しました河合将補です。今後地域との連携を一層強化し、地域に根ざした駐屯地として、皆様との信頼関係をより深めてまいりますので、引き続き目達原駐屯地に対する温かいご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

戦後八十年が経ちましたが、日本を取り巻く安全保障環境は最も厳しい状況にあり、日本の防衛の最前線に立つ西部方面隊の一員として目達原駐屯地所在部隊は日夜訓練に励んでおります。

また、今年の夏の線状降水帯による豪雨等異常とも言える災害が九州管内に生起しておりますが、目達原周辺に万が一発生した場合にも即応態勢を保持して地域の皆さまの安心と安全の確保に努めております。

目達原駐屯地は、各種の教育訓練を通じて地域の皆様の安全・安心な暮らしを守りぬく力を蓄えるとともに、使命感と誇りをもって任務に励んでまいりますので、引き続き御理解・御協力の程よろしくお願い致します。

第42代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 河合 将補 着任



着任式

九州補給処は、令和7年8月1日(金)、目達原駐屯地において、第42代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 河合寿士陸将補の着任式を行いました。着任の辞において河合将補は、「統率方針「責務の完遂」、要望事項「変化への適応」「安全・健全」の下、様々な変化をしっかりと捉え、何が不変で何が変わるのかを見極め、刻々と変化する状況に適した方法は何かを一人一人が考え行動し、それぞれの責務を完遂してほしい。」我が国の防衛を担う一員として心身ともに健康やかであって、いついかなる任務にも即応し、国民の負託にこたえるよう自らの健全性を維持・向上させてほしい。」と訓示しました。九州補給処及び目達原駐屯地は、これまでの歴史と伝統を継承しつつ、河合陸将補の統率の下、始動しました。

- 【紹介】 かわい ひさし
- 氏名 河合 寿士
 - 出身地 愛媛県
 - 期別 防衛大学校37期
 - 主要経歴
 - 平成28年7月 第10後方支援連隊長(春日井)
 - 平成30年3月 補給統制本部火器車両部長(十 条)
 - 令和2年3月 西部方面總監部装備部長(健 軍)
 - 令和4年8月 中部方面總監部幕僚副長(伊 丹)
 - 令和5年8月 防衛装備庁調達事業部調達総括官(市ヶ谷)
 - 令和7年8月 現 職



儀仗



記念撮影



初度巡視



幹部挨拶



見送り



離任式

第41代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 佐藤将補離任

九州補給処は、令和7年7月31日(木)、目達原駐屯地において、第41代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 佐藤将補の離任式を行いました。

佐藤将補は、九州補給処の隊員達に対して感謝の言葉及び今後の活躍への期待の言葉を述べ、駐屯地を後にしました。なお、佐藤将補は、令和7年8月1日付をもって、武器学校長兼ねて土浦駐屯地司令に着任されました。

九州補給処兼ねて目達原駐屯地最先任上級曹長交代式



【紹介】

准陸尉 藤吉 一世
(出身) 福岡県
(職種) 武器科
(座右の銘) 一意専心

〈一言〉
最先任上級曹長の職を今一度よく知り、より好きになって身構えることなく処長の補佐、准曹士の発展に精進します。



最先任識別章の授与

九州補給処は、令和7年7月28日(月)、目達原駐屯地において、九州補給処兼ねて目達原駐屯地最先任上級曹長交代式を実施し、第7代最先任上級曹長に藤吉准尉が上番しました。

陸上幕僚長目達原駐屯地現況確認

駐屯地は、令和7年5月28日(水)、目達原駐屯地において、陸上幕僚長 森下陸将(当時)の現況確認を受けました。本現況確認では、状況報告、施設等巡視及び指揮官等懇談を実施し、目達原駐屯地の現況、特に後方支援の実効性向上に係る各種取り組みについてご確認していただきました。



状況報告



施設等巡視(補給倉庫)



施設等巡視(整備工場)



施設等巡視(投下支援小隊)



指揮官等懇談

陸目EXPO2025支援



航空機体験搭乗



職種説明



若年隊員との懇談



装備品展示

駐屯地は、令和7年7月29日(火)、目達原駐屯地において、自衛隊佐賀地方協力本部が実施する陸目EXPO2025を支援しました。陸目EXPO2025では、佐賀地方協力本部が公募した募集対象者等58名に対して、職種説明、装備品展示、会食、生活隊舎等の生活環境見学、航空機体験搭乗及び若年隊員との懇談等を実施し、積極的に陸上自衛隊の魅力発信することができました。

令和7年度 前期定期表彰式



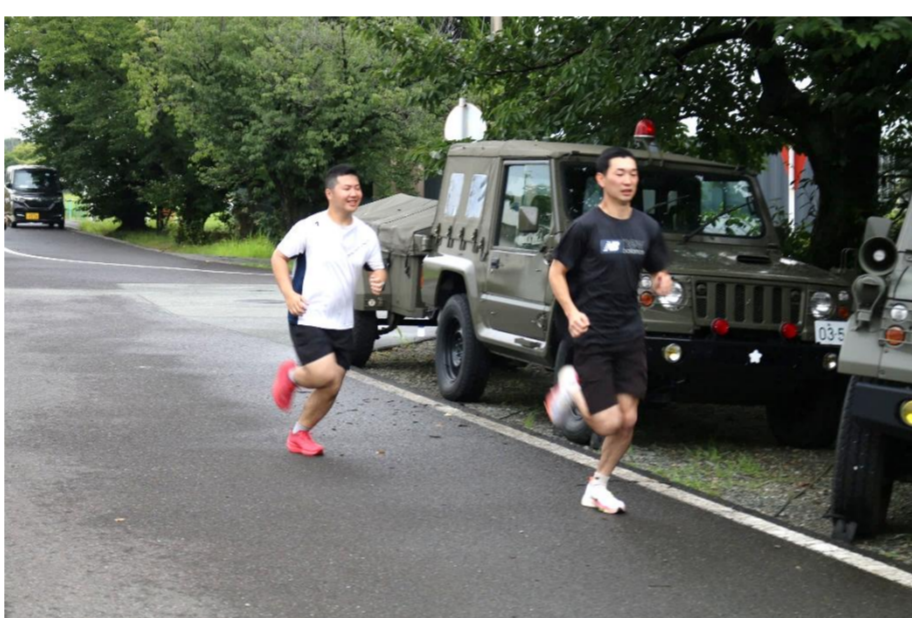
賞状を受け取る受賞者



今回の表彰式で受賞した隊員たち

九州補給処は、令和7年7月24日(木)、前期定期表彰式を実施しました。表彰式では、職務遂行、車両無事故走行や隊員自主募集で特に活躍した隊員83名に対し表彰しました。

体力検定



武器の分解・結合



砂盤を使った戦闘予行



九州補給処は、令和7年7月8日(火)から7月18日(金)までの間、目達原駐屯地、鳥栖分屯地及び高良台演習場において、陸曹候補生2名に対して、陸曹候補生課程履修前教育を実施しました。本教育の前段では、任(職)務分析を通じた使命感の涵養を図るとともに、地図の判読や武器の分解・結合など戦闘に必要な知識について教育し、後段では、戦闘訓練、外哨・斥候などの野外訓練を実施しました。被教育者たちは、猛暑の中、久しぶりの野外訓練に苦戦しながらも、教官・助教の指導を熱心に聞き、最後まで全力で教育に臨み、陸曹候補生課程入校への自信を付けることができました。



戦闘訓練



九州補給処

陸曹候補生課程履修前教育



発見された不発弾3発



関係各機関との現地対策会議



爆破処分成果の確認



現地爆破処分の準備

西部方面後方支援隊第104不発弾処理隊(目達原)は、令和7年7月29日(火)、熊本県天草市御所浦町において旧日本軍の不発弾3発の現地爆破を実施しました。当日は半径およそ400メートルの立ち入りを規制し、付近の道路を全面通行止めとしました。不発弾は、町内の土砂捨て場に掘った深さ3メートルの穴に埋めた後、さらに高さ3メートルの土のうを積んで、爆破の際に破片が飛び散らないようにして爆破を行いました。引き続き民生の安定に寄与するため、不発弾処理業務に尽力していきます。

熊本県天草市における

不発弾現地爆破

第104不発弾処理隊

西部方面後方支援隊

